



キビタン©福島県

あぐりサポートニュース ～12市町村 復興再生への取組《大熊町》～

(公財)福島県農業振興公社

大熊町における営農再開状況及び営農再開に向けた取組紹介

大熊町では、大川原地区で昨年度までに野菜・米の実証栽培が進められておりましたが、今年度より地元農家、町外法人（2事業者）らが中心となり20ha以上の農地で営農が開始されました。作付け品目は、水稻（飼料用・主食用・酒米）、大豆、アスパラガス、生姜などです。

また、特定復興再生拠点区域では、除染後の保全管理や大豆・水稻などの試験栽培をドローン等を活用して行っております。営農再開に向けた準備として、町と連携して農地所有者へのアンケート調査及び取りまとめ、地域の話し合いのための図面等を作成しております。今後も営農再開に向けた課題である「担い手確保」や「農地の条件整備」、「営農作物選定」等について、関係機関と連携して検討していく考えです。

当面は福島県営農再開支援事業の保全管理や管理耕作等が活用される予定ですが、本格的な営農再開する際には農地バンク事業が活用されるよう地域での話し合いや準備を進めていきます。

《大熊町の耕作者の声》
株式会社イージープランニング 田代ファーム代表
田代孝さん
熊本県出身。大熊町に来たのは、被災地の農業の復興が目的です。熊本県では、イチゴ・米の無農薬・無化学肥料栽培などこだわりの自然栽培を実践し、『身体に良い農産物』が消費者の支持を得ていました。その熊本県での営農スタイルや、国内外でのコンサルタントの経験が、風評被害の対処に生かせると考えています。被災地だがこの空白の10年余で、農業・自然の恵みは逆に復活し増えています。大熊町で機能性を持った高品質・被災地特性を生かした作物生産に挑んでいきます。

大川原地区



稲刈り状況



麦刈り取り状況

特定復興再生拠点区域



大豆 実証栽培



水稻 実証栽培



《市町村コーディネーター 自己紹介》
大熊町担当の志賀令和（しが のりかず）です（大熊町の出身）。昨年度より大熊町役場の産業課に駐在しております。町民・役場と連携して、町内外の担い手の確保、営農再開の課題解決に向けた話し合いに尽力し、将来的には農地バンク事業を活用した営農再開へ繋げていきたいです。



さつまいも植え付け

田代ファーム 生姜作付け状況

